グラフィカル インターフェイスと操作手順

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/performance-checker/concept_graphical_interface_and_navigational_paths.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

グラフィカル インターフェイスと操作手順 1
- Active IQ Unified Manager のグラフィカルインターフェースとナビゲーションパスを確認する 1
- Active IQ Unified Manager でクラスターオブジェクトのナビゲーションを監視する 1
- Active IQ Unified Manager でのクラスターパフォーマンスナビゲーションの監視 2
- Active IQ Unified Manager でパフォーマンスイベントを調査する 5

グラフィカル インターフェイスと操作手順

Active IQ Unified Manager のグラフィカルインターフェースとナビゲーションパスを確認する

Unified Managerは非常に柔軟性が高く、さまざまな方法で複数のタスクを実行できます。Unified Managerで作業を進めるにつれて、多くのナビゲーションパスを発見することになるでしょう。ナビゲーションの可能な組み合わせすべてを示すことはできませんが、よくあるシナリオのいくつかについては理解しておく必要があります。

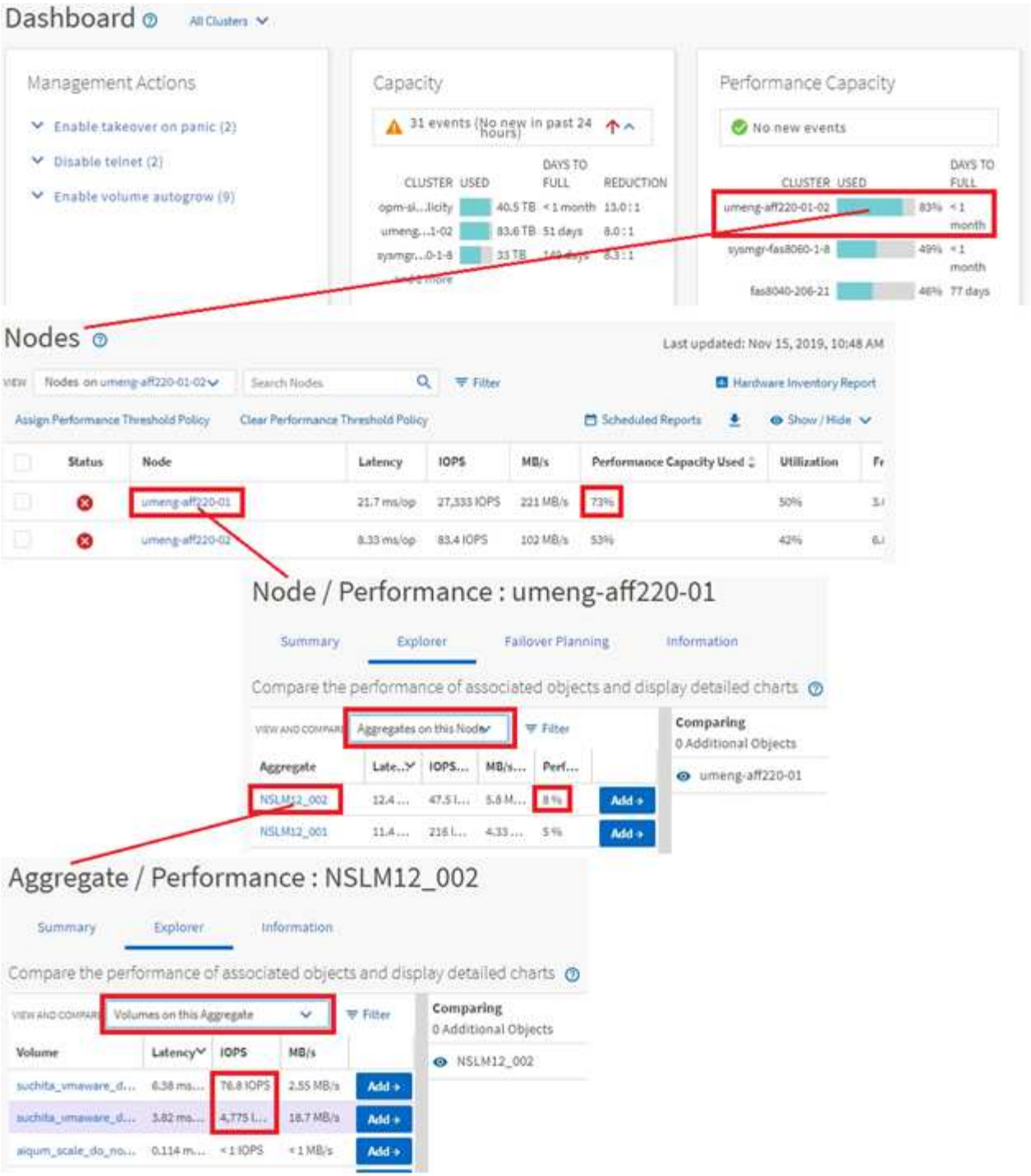
Active IQ Unified Manager でクラスターオブジェクトのナビゲーションを監視する

Unified Managerで管理しているクラスタ内のすべてのオブジェクトのパフォーマンスを監視できます。ストレージ オブジェクトの監視では、クラスタとオブジェクトのパフォーマンスの概要を確認し、パフォーマンス イベントを監視します。パフォーマンスとイベントの総合的な情報を表示することも、オブジェクトのパフォーマンスとパフォーマンス イベントの詳しいデータを表示して調査することもできます。

次に、クラスタ オブジェクトを監視する際の操作例を紹介します。

1. [ダッシュボード]ページで、[パフォーマンス容量]パネルの詳細を確認して使用済みパフォーマンス容量が最も多いクラスタを特定し、棒グラフをクリックしてそのクラスタのノードのリストに移動します。
2. 使用済みパフォーマンス容量の値が最も高いノードを特定し、そのノードをクリックします。
3. ノード/パフォーマンスエクスプローラーページから、「表示と比較」メニューの「このノードのアグリゲート」をクリックします。
4. 使用済みパフォーマンス容量が最も多いアグリゲートを特定し、そのアグリゲートをクリックします。
5. Aggregate / Performance Explorerページから、「表示と比較」メニューの「このAggregateのボリューム」をクリックします。
6. IOPSが最も高いボリュームを特定します。

特定したボリュームを調べて、QoSポリシーまたはパフォーマンス サービス レベル ポリシーを適用するかどうかを判断するか、またはポリシーの設定を変更し、これらのボリュームが使用するIOPSの割合が少なくなるようにします。



Active IQ Unified Manager でのクラスターパフォーマンスナビゲーションの監視

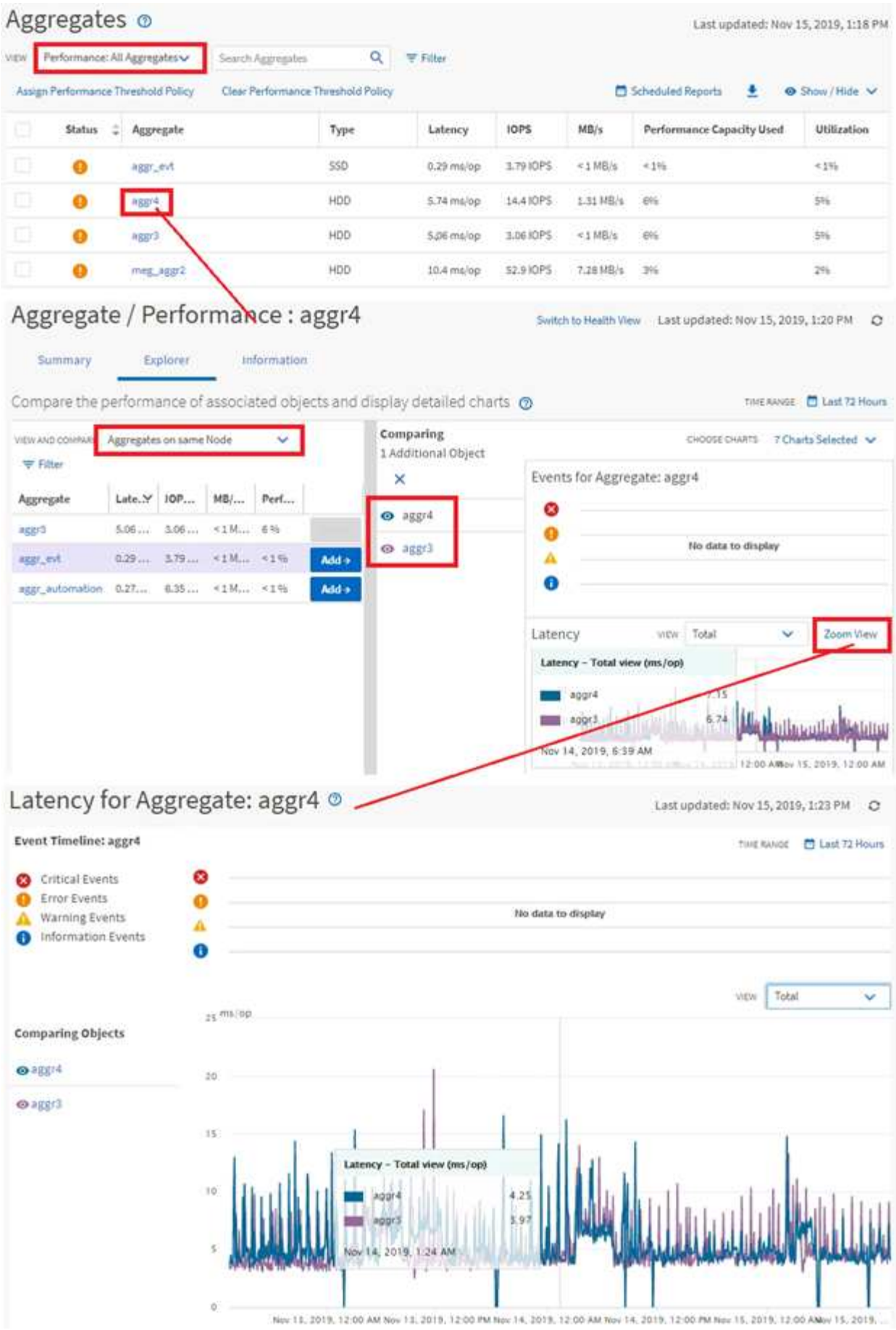
Unified Managerで管理しているすべてのクラスタのパフォーマンスを監視できます。クラスタの監視では、クラスタとオブジェクトのパフォーマンスの概要を確認し、パフォーマンス イベントを監視します。パフォーマンスとイベントの総合的な情報を表示することも、クラスタとオブジェクトのパフォーマンス、パフォーマンス イベントの詳しいデータを表示して調査することもできます。

次に、クラスタ パフォーマンスを監視する際の操作例を紹介します。

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ>*アグリゲート*をクリックします。
2. これらのアグリゲートのパフォーマンスに関する情報を表示するには、「Performance: All Aggregates」ビューを選択してください。
3. 調査するアグリゲートを特定し、そのアグリゲート名をクリックして[アグリゲート / パフォーマンス エクスプローラ]ページに移動します。
4. 必要に応じて、[表示して比較]メニューでこのアグリゲートと比較する他のオブジェクトを選択し、そのうちの1つを比較ペインに追加します。

   両方のオブジェクトの統計データが、比較できるようにカウンタ グラフに表示されます。

5. エクスプローラーページの右側にある比較ペインで、カウンターチャートのいずれかにある「ズームビュー」をクリックすると、その集計値のパフォーマンス履歴の詳細が表示されます。


Aggregates
Last updated: Nov 15, 2019, 1:18 PM
VIEW
Performance: All Aggregates
Search Aggregates
Filter
Assign Performance Threshold Policy
Clear Performance Threshold Policy
Scheduled Reports
Show / Hide
Status
Aggregate
Type
Latency
IOPS
MB/s
Performance Capacity Used
Utilization
aggr_evt
SSD
0.29 ms/op
3.79 IOPS
< 1 MB/s
< 1%
aggr4
HDD
5.74 ms/op
14.4 IOPS
1.31 MB/s
6%
5%
aggr3
HDD
5.06 ms/op
3.06 IOPS
< 1 MB/s
6%
5%
meg_aggr2
HDD
10.4 ms/op
52.9 IOPS
7.28 MB/s
3%
2%
Aggregate / Performance : aggr4
Switch to Health View
Last updated: Nov 15, 2019, 1:20 PM
Summary
Explorer
Information
Compare the performance of associated objects and display detailed charts
TIME RANGE
Last 72 Hours
VIEW AND COMPARE
Aggregates on same Node
Filter
Aggregate
Late...
IOP...
MB/...
Perf...
aggr3
5.06 ...
3.06 ...
< 1 M...
6 %
aggr_evt
0.29 ...
3.79 ...
< 1 M...
< 1 %
Add
aggr_automation
0.27...
6.35 ...
< 1 M...
< 1 %
Add
Comparing
1 Additional Object
aggr4
aggr3
CHOOSE CHARTS
7 Charts Selected
Events for Aggregate: aggr4
No data to display
Latency
VIEW
Total
Zoom View
Latency – Total view (ms/op)
aggr4
7.15
aggr3
6.74
Nov 14, 2019, 6:39 AM
12:00 AM
Nov 15, 2019, 12:00 AM
Latency for Aggregate: aggr4
Last updated: Nov 15, 2019, 1:23 PM
Event Timeline: aggr4
TIME RANGE
Last 72 Hours
Critical Events
Error Events
Warning Events
Information Events
No data to display
VIEW
Total
Comparing Objects
aggr4
aggr3
25
ms/op
20
15
10
5
0
Latency – Total view (ms/op)
aggr4
4.25
aggr3
3.97
Nov 14, 2019, 1:24 AM
Nov 13, 2019, 12:00 AM
Nov 13, 2019, 12:00 PM
Nov 14, 2019, 12:00 AM
Nov 14, 2019, 12:00 PM
Nov 15, 2019, 12:00 AM
Nov 15, 2019,

Active IQ Unified Manager でパフォーマンスイベントを調査する

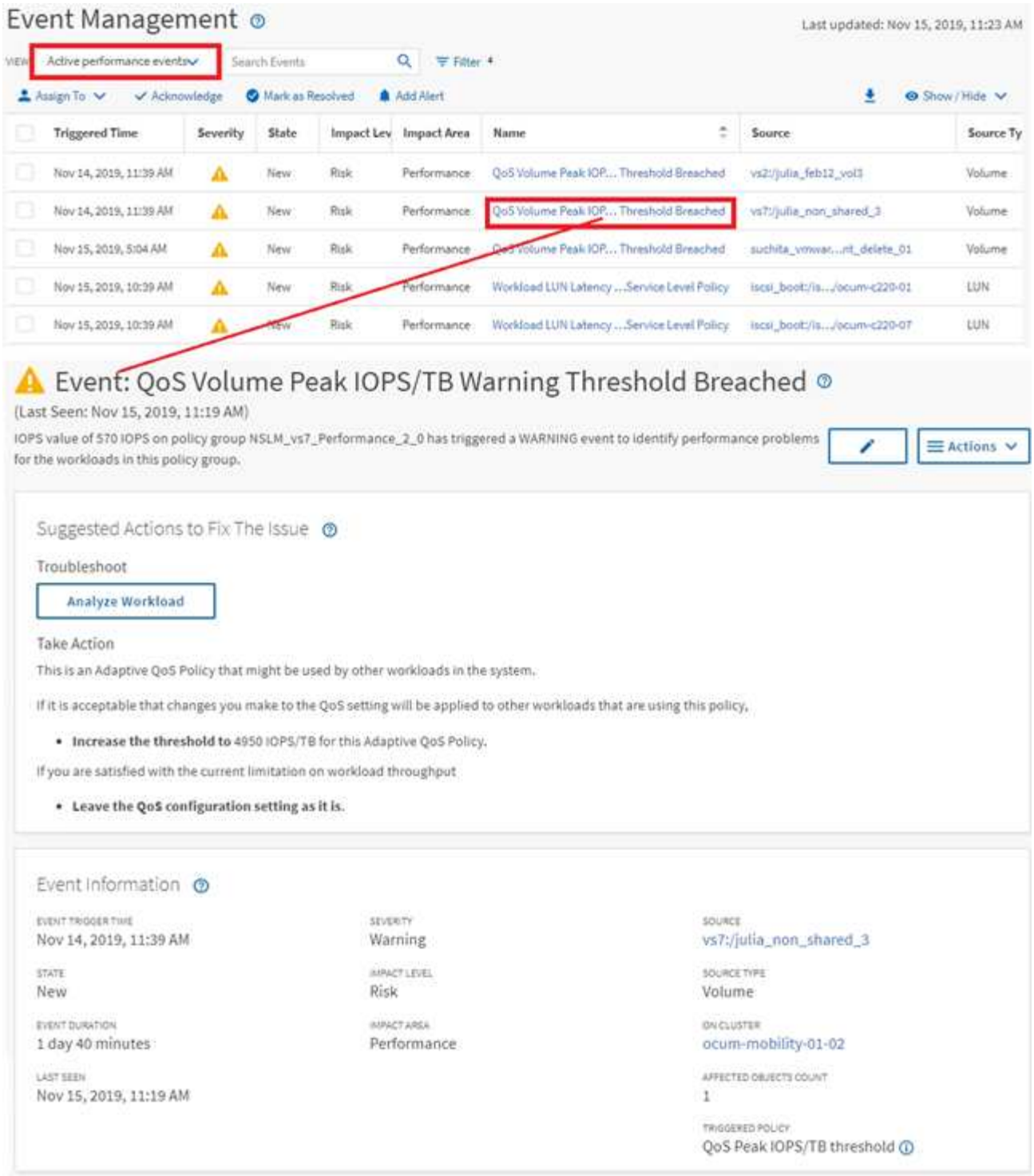
Unified Managerのイベント詳細ページには、パフォーマンス イベントに関する詳しい情報が表示されます。トラブルシューティングやシステムのパフォーマンスの微調整を行う際に、このページでパフォーマンス イベントを調査できます。

パフォーマンス イベントのタイプに応じて、次のいずれかのイベント詳細ページが表示されます。

- ユーザ定義およびシステム定義のしきい値ポリシー イベントの[イベントの詳細]ページ
- 動的しきい値ポリシー イベントの[イベントの詳細]ページ

以下は、イベントを調査する際の手順の一例です。

1. 左側のナビゲーションペインで、*イベント管理*をクリックします。
2. 「表示」メニューから「アクティブなパフォーマンスイベント」をクリックします。
3. 調査するイベントの名前をクリックすると、[イベントの詳細]ページが表示されます。
4. イベントの[説明]や[推奨される操作]（利用可能な場合）で、問題の解決に役立つイベントに関する詳細を確認します。「ワークロード分析」ボタンをクリックすると、問題のさらなる分析に役立つ詳細なパフォーマンスチャートが表示されます。


Event Management
Last updated: Nov 15, 2019, 11:23 AM
Active performance events
Search Events
Filter
Assign To
Acknowledge
Mark as Resolved
Add Alert
Show / Hide
Triggered Time
Severity
State
Impact Lev
Impact Area
Name
Source
Source Ty
Nov 14, 2019, 11:39 AM
New
Risk
Performance
QoS Volume Peak IOP... Threshold Breached
vs2:/julia_feb12_vol3
Volume
Nov 14, 2019, 11:39 AM
New
Risk
Performance
QoS Volume Peak IOP... Threshold Breached
vs7:/julia_non_shared_3
Volume
Nov 15, 2019, 5:04 AM
New
Risk
Performance
QoS Volume Peak IOP... Threshold Breached
suchita_vmwar...nt_delete_01
Volume
Nov 15, 2019, 10:39 AM
New
Risk
Performance
Workload LUN Latency ...Service Level Policy
iscsi_boot:/is.../ocum-c220-01
LUN
Nov 15, 2019, 10:39 AM
New
Risk
Performance
Workload LUN Latency ...Service Level Policy
iscsi_boot:/is.../ocum-c220-07
LUN
Event: QoS Volume Peak IOPS/TB Warning Threshold Breached
(Last Seen: Nov 15, 2019, 11:19 AM)
IOPS value of 570 IOPS on policy group NSLM_vs7_Performance_2_0 has triggered a WARNING event to identify performance problems for the workloads in this policy group.
Actions
Suggested Actions to Fix The Issue
Troubleshoot
Analyze Workload
Take Action
This is an Adaptive QoS Policy that might be used by other workloads in the system.
If it is acceptable that changes you make to the QoS setting will be applied to other workloads that are using this policy,
Increase the threshold to 4950 IOPS/TB for this Adaptive QoS Policy.
If you are satisfied with the current limitation on workload throughput
Leave the QoS configuration setting as it is.
Event Information
EVENT TRIGGER TIME
Nov 14, 2019, 11:39 AM
SEVERITY
Warning
SOURCE
vs7:/julia_non_shared_3
STATE
New
IMPACT LEVEL
Risk
SOURCE TYPE
Volume
EVENT DURATION
1 day 40 minutes
IMPACT AREA
Performance
ON CLUSTER
ocum-mobility-01-02
LAST SEEN
Nov 15, 2019, 11:19 AM
AFFECTED OBJECTS COUNT
1
TRIGGERED POLICY
QoS Peak IOPS/TB threshold

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。